

# 下半期の展望と注力ポイント

有力化粧品OEM・資材メーカーに聞く

## 中国に研究所開設へ



コスモビューティー社長 山添 隆

- ・基幹システムの刷新(投資額1~5億円)。
- ・人材の確保(中途主要件提出済)。
- ・基礎研究開発(特許3件)。
- ・海外への輸出案件が増えたこともあり、今後のグローバル化に向けたネイティ
- ・部署長クラス10名・新卒40名・ガバナンス強化(主に)

イブスピーカー、外国人の採用を積極的に進めていく。海外の薬事部門の部署を設置。  
④日本の労働力不足に対する懸念が高まっている。さらなる需要に備えてベトナムに新倉庫を建設する一方、中国市場の変化を感じる。

(原文のまま)

①当社としては4月~6月が新規の第一四半期となるが、前年比は約120%と好調に推移している。ただし、前年の同期が通年の中でも極端に稼働率が悪かつたこともあり、通年的には期待されるも解消され、110%くらいの終着を見込んでいる。ドラッグストアルートのヘアケア関係が好調なこと、中国需要インバウンド・アウトバウンドが引き続き好調。

②前期に200億円を達成し、次の300億円企業になるべく工場増設、基幹システムの刷新、人材の確保、基礎研究開発、ガバナンスの強化に取り組んでいる。

・工場増設(国内工場用地確保に加え、ベトナム第三工場、中国第二工場がこの秋から本格稼働する予定)。

られる。今までのメイドインジャパンを信奉から、信頼できる市場なら中国国内生産でも構わないという認識が急速に増えた。中国投資をより積極的に進める。本年中に中国に研究所を開設する。

ノン・エクスポート市場(ベトナム工場)の需要がさらに高まっている。さらなる需要に備えてベトナムに新倉庫を建設する一方、中国市場の変化を感じる。

# 夏季特別寄稿

近年、ヘパリン類似物質を有効成分に使用した医薬品が美容目的で処方され、その問題になつてゐる。

ヘパリン類似物質の特徴として、(1)保湿度が高いこと、(2)保湿作用による皮膚水分量の増加、(3)皮膚表面の角質層の保護効果がある。

これらの効果により、ヘパリン類似物質は、化粧品や医薬品として広く使用されている。

しかし、持たせた処方設計によっては、乳液が高まり、外用医薬品にするよりもヘパリン類似物質を始め、医薬品外用剤を製造する場合、医薬部外品と同様の規格試験を実施する。

そこで弊社では、ヘパリン類似物質の保湿度を高め、定量試験が必須となるが、保湿度は前述したように構成中のヘパリン類似物質を定量することは、かなり難易度が高く、定量方法を確立するのに多くの時間を要し、確立に相当な時間を要する。

そこで、新たに安定性が確認された。原料規格試験を用いた。原料規格試験を用いた。

また、乳液のべたつかず、持続性が強いため、増粘剤の添加量を増加させた。

## 化粧品OEMメーカーによるヘパリン類似物質配合製剤の開発

コスモビューティー執行役員研究部部長 西本和宏



西本和宏氏

近年、ヘパリン類似物質を有効成分に使用した医薬品が美容目的で処方され、その問題になつてゐる。

ヘパリン類似物質の特徴として、(1)保湿度が高いこと、(2)保湿作用による皮膚水分量の増加、(3)皮膚表面の角質層の保護効果がある。

これらの効果により、ヘパリン類似物質は、化粧品や医薬品として広く使用されている。

しかし、持たせた処方設計によっては、乳液が高まり、外用医薬品にするよりもヘパリン類似物質を始め、医薬品外用剤を製造する場合、医薬部外品と同様の規格試験を実施する。

そこで弊社では、ヘパリン類似物質の保湿度を高め、定量試験が必須となるが、保湿度は前述したように構成中のヘパリン類似物質を定量することは、かなり難易度が高く、定量方法を確立するのに多くの時間を要し、確立に相当な時間を要する。

また、乳液のべたつかず、持続性が強いため、増粘剤の添加量を増加させた。

グラフ3 各製剤による保護効果

